

公表

事業所における自己評価結果 (児童発達支援)

事業所名	吉備の里ほけっと					公表日	令和7年 2月 13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・午前:児発・午後:放デイで部屋確保が出来るが、休日の場合は、プログラムによりカバーをしている。(体育館使用等)	・事業に対して、部屋が確保できておらず、空きスペースで活動を廻す場面がある。(休日設定など)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		カラムシが大量発生して、十分対処できない。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		・クールダウンが出来る特別な部屋の確保ができていない。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・日々の振り返り時間を利用する。職員会議(月1回)の中で、ケース検討や支援共有が必要な利用児について話合う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・相談モニタリングや面談の活用し、確認をさせて頂く。個人的に改善内容がある場合、連絡を頂くこともある。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・日々の振り返り時間や職員会議などで意見交換を行っている。特別な時間を摂らないが、昼食時間や食事間など現場スタッフで集まりコミュニケーションを取っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	・年2回外部の方(委員)を招き、第三者委員会を開催している。 ・療育スキルアップの為、外部講師を招き支援スキルを図る。	・苦情やヒヤリハット報告書について、第三者委員会へ報告する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		・モニタリング時に、現在支援を行っている様子を保護者へお伝えしているが、公表まで至らない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・アセスメントツールとして、保護者からのアセスメント・インテーク情報・K-ABC IIなど活用している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・策定会議実施。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・計画に沿っているのかわからない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・児童指導員中心にスタッフ間で相談しながら課題、制作準備を行う。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・児童指導員中心にスタッフ間で相談しながら課題、制作準備を行う。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・個別療育から集団療育へ移行する際に、保護者の方と相談しながら支援を行う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	・前日の振り返り会や当日朝礼にて、役割等の確認を行う。 ・打ち合わせは無い。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・児発支援後、スタッフ間で振り返りや意見交換がなされている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・各利用児ケースソフトへ入力・日々の振り返りにノートへ記載し、全員が共有できるように工夫している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・必要ケースについては実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・児発管が出席している。必要に応じて児童指導員への参加を促す時もある。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・自立支援協議会本部会への出席。	・自立支援協議会へ管理者が出席をするが、現場スタッフへ詳細が伝えきれていない為、今後、会議内容を工夫し周知徹底を図る。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・訪問を行う事で、支援共有を行う。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		・移行支援会議への参加。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		・スキルアップの一環として言語聴覚士の先生よりアドバイスを頂いている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・連絡帳やlineを活用しながら、日々の様子を保護者の方へお伝えしている。	・対面での連絡が出来ない為、詳細について伝えられないのが課題。要検討。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・PCIT（公認心理師対応） ・町主催のペアトレ研修への呼びかけを行う。（ペアトレ講師1名・職員1名・保護者2名受講された。）		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談等で保護者の意見を聴き取り、計画へ落とすようにしている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	2		・定期的には行っていない。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	3	・今年度始めて、1月親子行事を行う。(参加児童10名)	・毎年開催しながら、親子行事の定着を図りたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・長期休み前には、おたよりを発行している。 ・広報誌・インスタ・HP発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・法人行事「ふるさと祭り」に地域住民や関係者が集まっている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・6年度2月研修実施・3月訓練予定。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		・アセスメントでの確認。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・アレルギー対策：(名札に印をつけて分かりやすくしている。)	・医師の指示書の有無は不明。 ・アセスメントでの保護者確認のみである。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	・BCP計画作成・研修実施中。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		・7年度は、「災害用おたより」を配布する予定。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・ヒヤリハット報告書提出(全員へ回覧する)職員会議内で検証を行う。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・6年度2月虐待防止研修を受けた。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	2	・重要事項説明書の中で、保護者への説明義務を行っている。	・わからない。 ・ぼんやりとしたイメージしか出来ないの で、今後ロールプレイをして欲しい。	